

波も荒ぶる南溟の

作詞：不詳

1. 波も荒ぶる^{すさ} 南溟^{なんめい}の

南溟：南の大海（海水の黒ずんでいること
からいう）
対語に北溟がある

大中（高）校の わが選手

^{かいな}
腕 見すべき 晴れ舞台

りりしき姿 ユニホーム

熱球魔球 打ち返す

雄々しき姿 見よや見よ

2. 若人の胸 高鳴れば

^{せんま}
千万の球も 腕の中

何ぞ恐れん 適の球

^{ひとつ}
砕いて見せん 一打ちに

飛球ネットイン 何のその

後に大中（高）応援団

※元歌は第五高等学校（現熊本大学）の応援歌「武夫原頭に草萌えて」である。
この歌は、対七高との野球の定期戦で歌われ、全国的にも有名である。
※武夫原は五高の運動場の別称で、七高の応援歌の中にもしばしば出てくる。